

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 555 号	氏名	辻本 真規
学 位 審 査 委 員	主 査	渡邊 郁哉	
	副 査	澤瀬 隆	
	副 査	筑波 隆幸	
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は生体材料である MTA が漂白剤によって侵襲を受けた場合のバリア材となるかを検討するために行った研究である。目的は十分に妥当である。 2. 研究手法に対する評価 MTA の表面性状の変化について、色調および微細構造の変化を観察した。さらに、漂白剤による MTA 内の元素分布への影響はエネルギー分散型 X 線微小部分分析システム(EDX)を使って分析した。これらの方法は、本研究の目的に照らして妥当である。 3. 解析・考察の評価 本研究では、過酸化水素濃度が高く、pH が低い漂白剤は MTA の表面構造に強く影響をおよぼした。EDX によって Ca の減少と Si の増加が認められ、この傾向は高濃度の過酸化水素を有する群で顕著であった。色調変化に関しては、主に漂白剤に含まれる金属塩による影響と考えられる。漂白剤を臨床で MTA へ応用していく上で有益なデータとなり、また MTA はレジンなどで修復することが推奨される。 以上のように、本論文は生体材料 MTA の物性を解明するための研究として意義のある内容で、かつ今後の研究応用に寄与するところが大である。審査員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。			